

# 西濃教育事務所 「例えばこんな単元指導計画」シリーズ 小・第4学年・国語科編

単元名 中心となる語や文を見つけて要約し、調べたことを書こう (未来につなぐ工芸品) (工芸品のみりよくを伝えよう) C読むこと B書くこと
---

内容のまとめり 第3学年及び第4学年 [知識及び技能] (2) 情報の扱い方に関する事項 [思考力、判断力、表現力等] 「C読むこと」「B書くこと」
---

## 1 単元の目標

- (1) 事典の使い方を理解し、使うことができる。 [知識及び技能] (2) イ
- (2) 目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約することができる。 [思考力、判断力、表現力] C(1)ウ
- (3) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 [思考力、判断力、表現力] B(1)ウ
- (4) 言葉がもつよさに気付くとともに、幅広く読書をし、国語を大切に、思いや考えを伝え合おうとする。 [学びに向かう力、人間性等]

## 2 単元で取り上げる言語活動

学校図書館やインターネットを利用して、工芸品について調べ、リーフレットにまとめる。

## 3 単元の評価規準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
	①事典の使い方を理解し、使っている。(2)イ	①「読むこと」において、目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約している。(C(1)ウ) ②「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ)	①学習の見通しをもって粘り強く、工芸品のよさが伝わる語や文を見つけて要約したり、分かりやすい文章にしてまとめたりしようとしている。

## 4 指導と評価の計画(全12時間)

●「指導に生かす評価」 ○「記録に残す評価」

時	目標(◆) 主な学習活動(①、②…)	指導上の主な留意事項 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">ICTの活用</div>	評価		
			知 技	思 判 表	態 度
1	◆初発の感想を書き、問いをもつとともに、読む活動と書く活動の見通しをもち、単元の学習計画をたてることができる。 ①題名から「工芸品」について想起し、内容を想像する。 ②本文を通読する。 ③疑問に思ったことや興味をもったことを中心に、初発の感想を書く。 ④感想を交流し、問いをたてる。 ・「未来につなぐ」とはどういうことだろう。 ・全国にはどのような工芸品があるのか知りたい。 ・岐阜には美濃和紙がある。同じように未来につながっているのだろうか。 ・多くの人に工芸品を紹介して知ってもらいたい。 ⑤教科書を確認し、読む活動、書く活動の学習計画をたて、見通しをもつ。	①… 工芸品について知っていることを交流する。また、工芸品と量産品の実物を準備して実際に見比べたり、外国人のおみやげ人気ランキング等を紹介したりして、工芸品の魅力を実感できるようにする。 ②… 3年「ありの行列」4年「アップとルーズで伝える」などの説明文の学習において「初め」「中」「終わり」という構成になっていたことを想起させる。 ⑤… これまでの学習で生かせることがないか、を問い、生活科や社会科で調べ学習をしたことを想起させ、出た意見を計画に生かす。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ・単元で使用する資料や学習計画は共有フォルダにアップして、児童がいつでも閲覧できるようにしておく。                     </div>			●
2	◆段落相互の関係に着目しながら文章の構成を考え、大体の内容を理解することができる。 ①本文を通読し、「初め」「中」「終わり」に分け、それぞれのまとめりの内容を確認する。 ②交流して筆者の伝えたいことを一文で表す。 ③「中」で挙げられている例と、その役割を確かめる。 ④写真を使った説明の効果について考える。	②… 「初め」と「終わり」のつながりと違いを確認する。また、これが最も伝えたいことを明確にしてリーフレットを書く活動にもつながることを確認する。 ③… 例の順序についても触れ、意図があることをおさえる。  <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">                         ・③では、デジタル教科書の「マイ黒板」を活用し、中心となる語や文を抜き出してまとめることができるようにする。                     </div>			●

3 4	<p>◆まとものごとに中心となる語や文を見付け、本文を要約することができる。</p> <p>①「初め」の中心となる語や文を見付けて、要約の仕方について理解する。 ②「中」と「終わり」を要約する。 ③仲間と交流し、押さえるべき語や文を確認する。 ④③をふまえて、200字以内で要約する。 ⑤仲間と交流し、よりよい表し方を学ぶとともに、要約するよさを共有する。</p>	<p>①③ 工芸品が何を未来につなぐのかを読み手により分かりやすくするために、要約することを確認する。また、なぜその語や文を選択したか、という根拠を確認し、今後自分で考えることができるようにする。 ⑤… 「短くなり分かりやすくなる」「すっきりしてみんなに伝わる」等よさを実感させるとともに、「人に分かりやすく伝えられる」という書く活動にも繋がることを確認する。</p>		○ ①	○
5	<p>◆筆者の主張や自分でたてた問いについて、自分の考えをまとめることができる。</p> <p>①前回要約した内容を交流する。 ②自分でたてた問いや筆者の主張に対する自分の考えをキーワードを用いて短くまとめる。 ③まとめた画面を示しながら、意見を交流する。 ④仲間の考えをもとに、改めて文章にまとめる。</p>	<p>③… 仲間の意見を聞いて、自分がどう考えたかを伝えたり、付け加えるとよいことをアドバイスしたりするなど、双方向のやり取りができるように見届ける。</p> <p>・③では、どの問いを選択して考えを書いたかを共有し、自分がどのような意見を聞きたいか選択できるようにする。</p>			○
6	<p>◆工芸品に関する本や資料を読み、魅力ある工芸品について交流する中で、書きたいテーマを決定するとともに、書く活動の見通しをもつことができる。</p> <p>①工芸品についての本や資料を読み、驚いたことや感心したことについてまとめる。 ②ペアで魅力ある工芸品について交流する。 ③リーフレットの作り方について確かめる。 ④紹介する相手と工芸品を選択し、詳しく調べる。</p>	<p>①… 付箋に簡潔にまとめ、相手に伝えられるようにする。 ③… 教科書56～59ページを見て手順と内容を確認する。 ④… 「未来につなぐ」という視点から、アニメや茶道等の文化という意見が児童から出れば、認めていく。</p> <p>・④では、事典や図鑑などの本と併せてインターネット検索を行い、自分の調べたい事柄に迫るように助言する。</p>	●		
7 11	<p>◇相手や目的を意識して、経験したことや想像したことなどから書くことを選び、集めた材料を比較したり分類したりして、伝えたいことを明確にすることができる。</p> <p>◇書く内容の中心を明確にし、内容のままとりて段落を作ったり、段落相互の関係に注意したりして、文章の構成を考慮することができる。</p> <p>◆自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫して書くことができる。</p> <p>《一人で》 ①調べ方や調べたことの整理の仕方を確認する。 ②調べたことをメモにまとめ、分類・整理して自分の最も伝えたいことを明確にする。 ③例を読み、文章の組み立て方や資料の使い方のよさを見付ける。 ④文章の構成を考えたり、資料を選択したりする。 ⑤魅力を伝える文章を書き、推敲して清書する。 ⑥表紙や、裏表紙等を作成し、リーフレットを完成させる。</p> <p>《仲間と》 ・①～⑥を仲間との交流を適宜交えながら行う。自分の文章を読んでもらったり、アドバイスを求めたりする。</p> <p>《教師と》 ・①～⑥において、教師からのヒントやアドバイスをうけ、スモールステップで取り組む。</p> <p>※途中から学習形態を変更したり適宜アドバイスを求めたりすることができる。 ※毎時間、進行状況の交流を行い、次時の見通しをもつ。</p>	<p>①… 読んだ相手に何と言ってほしいかを確認し、常に立ち返って振り返ることができるように意識させる。 調べ方(付箋やシンキングツール)やまとめ方(一人で/共同で、画用紙で/デジタルで)を、自己選択して取り組めるようにする。 ②… 整理した観点や共通点を短い言葉で表すよう助言する。 ③④ 交流した内容をもとに、書くときのポイント(何をどのように書いて「調べた事実」と「自分の思い」が伝わるか)を自身の言葉で3～5点に箇条書きでまとめるよう助言する。 【例】・考えが分かりやすく伝わるように、「例えば」などと事実を具体的に書く。 ・終わりでは、「このように」と、中をまとめる。 ・写真は伝えたいことが伝わるものを選ぶ。 など ⑤… 自分で書いた文章を読み返し、前時にまとめた書き方ポイントが生かされているか、読んだ相手が予想通りに反応してくれそうか、必ず確認するように助言する。</p> <p>・書く活動のポイントをまとめた学習計画(活動の流れ)を全体に提示しておく。 ・誰がどんな工芸品についてまとめたかを共有し、アドバイスを求める相手を選択できるようにしておく。</p>	○	○ ②	○
12	<p>◆書こうとしたことが明確になっているなど、文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付けたり、単元の学習を通して、自分のよりよくなったところに気付いたりすることができる。</p> <p>①自分のリーフレットの工夫点やポイントを簡単にまとめる。 ②リーフレットを読み合い、感想を伝え合う。 ③単元の学習を振り返り、今後の学習に生かしたことをまとめる。</p>	<p>③… 第1時にたてた問いに立ち返ったり、今後文章を書くときに生かしたいことをまとめたりできるようにする。 (さらに力をつけたいことや自分の課題でもよい。)</p> <p>・②では、それぞれの調べた工芸品を画面共有し、どのリーフレットを読んでみたいか、選択して交流できるようにする。</p>			●

【備考】

- ・児童が学習形態(一人で/仲間と/先生と)、学習方法(ノート/端末)、まとめ方(一人で/共同で)等、学び方を選択できるようにする。
- ・第1時に伝統工芸品の本を紹介し、関連図書を教室内に設置して、並行読書ができる環境を整えておく。
- ・自身のノートや板書を端末で撮影し、いつでも見返すことができるようにしておく。
- ・分からない語句については、適宜調べてまとめ、保存していつでも見返すことができるようにしておく。
- ・第7時～第11時の学習計画を立てる活動を取り入れ、学習計画表を共有し、個別に学んだり、学びの自己調整をしたりすることができるようにしておく。また、教師もそれを見て個別に価値づけたり助言したりする。